

新県立中央図書館交流スペース等（ソフトインフラ）事業構想における課題

新県立中央図書館では、他事例では複合施設としている、従来型の図書館機能と新しいタイプの図書館機能を融合させ、1つの図書館機能として一体的に運用することを想定しており、そこで想定される諸課題について、以下のようにまとめた。

新県立中央図書館交流スペース等（ソフトインフラ）事業構想策定支援業務では、以下の想定される諸課題や調査・検討の中で生じた課題の解決を受託業者に求める。

なお、以下の課題は、あくまで現段階で想定される課題の一部である。

● 1 施設 1 機能複数運営者

- ・ 1 施設 1 機能複数運営者という、類を見ない運営体制のため、必要な事項の整理が必要。新県立中央図書館は、複数の運営者・関係者が関わる施設となることを想定している。（別紙：現行想定組織図）
- ・ 1 施設 1 機能複数運営者における、望ましい民間運営者、委託方法の検討、管理運営が可能な団体に求められる与件の整理
- ・ 各サービス・設備等について、直営との区分けが想定しづらい部分が生じるため、その管理区分等の整理、重複する場合の対応表の作成
- ・ 共用部分等の同一フロア内で直営と民間部分が混在する部分の、管理、責任分解点の整理

● 担い手・運営者

- ・ 交流スペース等で各サービスを行う上で、必要な担い手となる人材の確保。特に地域人材の確保、掘り起こし方法
- ・ 担い手を管理する民間運営者の組織体制、業務体系、選定・契約方法

● サービス提供体制

- ・ 図書館全体のデジタルサイン発信システム（デジタルサイネージ等）、情報発信コンテンツの直営と民間運営者の共用の可能性の検討、一元化する際に必要な条件の整理
- ・ 発信する情報の収集、管理体制のために必要なシステム等の与件整理（特に地域情報コンテンツ）